

氏名	廣渡祐史	部署	健康開発学科	職名	教授
研究分野	生化学、分析化学、臨床化学、動脈硬化				
学位	工学博士				
学歴	1986年早稲田大学理工学部応用化学科卒業、1996年早稲田大学工学博士取得				
経歴	1986年東ソー株式会社入社、1992年株式会社創薬技術研究所出向（国立がんセンター研究所研究員）、1994年東ソー株式会社復帰、2015年埼玉県立大学准教授、2020～2022年埼玉県立大学教授 検査技術科学専攻長、2023～2024年埼玉県立大学教授 健康開発学科長、2025年埼玉県立大学教授、現在に至る。 2012～2015年順天堂大学医学部非常勤講師、2012～2014年名古屋市立大学薬学部非常勤講師、2014年早稲田大学理工学術院招聘講師、2012年～北里大学大学院医療系研究科非常勤講師、2012年～女子栄養大学栄養科学研究所客員教授、2016～2020年東京工科大学演習講師				
所属学会（役職）	日本動脈硬化学会（評議員）、日本臨床化学会（評議員、リボ蛋白専門部会、編集委員会、関東支部常任幹事）、日本血栓止血学会、日本化学会、日本栄養食糧学会				

【2025年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名	発行等年月
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	「特集」動脈硬化リスクに関する検査のUpdate（序文）	単			臨床化学 55:1,2026	廣渡祐史	2026/1
2	動脈硬化領域における血小板活性化マーカーの役割.	共			臨床化学 55:36-40,2026	巖崎達矢、廣渡祐史	2026/1
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	糖尿病患者のリボ蛋白中の抗酸化物質 α-tocopherol の評価	共	第23回日本機能性食品医学会総会（国府台）		○巖崎達矢、箱島真理子、勝山修行、柳内秀勝、廣渡祐史		2025/12
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名			研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	該当なし						
3. 教育業績							
(1) 講義							
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	検査機器総論（学部1年）		2	臨床検査で用いられる多種多様の機器の原理を理解することを目的とした。また、顕微鏡の基礎的な知識・操作を身に着けるための実習も組み入れている。			
2	臨床化学検査学（学部2年）	○	15	主に血液中の成分を検査するための分析法について、その原理や臨床的意義を理解することを目的とした。症例の検査値の変化による病態の見方についても教授した。			
3	医科学研究法（学部2年）	○	2	医学研究・倫理について学ぶ新規科目である。いろいろな分野の研究者に講義をお願いし、学生の興味を高めるようにした。			

4	病態生化学（学部3年）	○	15	ホルモンなどによる生体内の制御に関する授業である。血液検査データだけでなく生体検査データも含めた症例説明の内容を取り入れ、より深く生体制御を理解するように工夫している。最新の医学情報とわかりやすい症例報告を加えることに授業に改良を加えた。
5	臨床栄養学（学部3年）		1	生活習慣病に関連する疾患の栄養療法などに関して講義を行った。
6	生体情報評価学（修士1年）		3	興味を引き起こすことを目的とし、動脈硬化・メタボリックシンドロームを中心に世の中の状況・問題点についての議論の時間を中心とした講義を展開した。
7	医療科学研究論（博士1年）		3	自分の専門分野であるリポ蛋白、動脈硬化、血小板に関する内容を提供し、今後研究すべき課題について議論した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	臨床検査基礎演習（学部1年）		1	臨床検査の概要を知るための講義・実習・演習である。生化学系の実習を受け持った。
2	臨床化学検査学演習（学部3年）	○	15	血液中の成分を検査するための検査項目や解析方法に関する知識について、演習を通じて学ぶ。
3	臨床検査総合演習（学部4年）		1	臨床化学分野を担当し、国家試験対策および模試の問題を作成した。
4	IPW演習	○	8	学生のディスカッションが活発になるように指導した。来年度は総括科目責任者となるので、その準備を行った。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	臨床化学検査学実習（学部2年）	○	15	血液中の成分を検査するための主な分析法について、その原理や臨床的意義を学ぶための実習を行った。また、血糖自己血糖の患者対応についても学生同士で実習を行った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2025/4-2026/3	主指導 3名	副指導 0名
2	修士論文	2025/4-2026/3	主指導（指導教員） 1名	副指導（指導補助教員） 0名
3	博士論文	2025/4-2026/3	主指導（指導教員） 0名	副指導（指導補助教員） 2名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	まちなかキャンパス	千間台西自治会 連合、支え合い 会議、越谷市社 会福祉協議会	「動脈硬化と血管の大切さ！」千間台記念会館、50人程度	2025/11/2 2

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	日本動脈硬化学会	評議員	2011.7～現在	
2	日本動脈硬化学会	ガイドライン協力執筆者	2025.7～現在	
3	日本臨床化学会	評議員	2012.8～現在	
4	日本臨床化学会	リポ蛋白検査専門委員会	2015.4～現在	
5	日本臨床化学会	編集委員会 2021.4～2023.3 副編集長 2023.4～2025.3 編集長	2019.4～現在	
6	日本臨床化学会関東支部	常任幹事	2025.7～現在	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	産業支援	プリメディアカ	コンサルタント：酸化変性LDL測定系の標準物質について	2023/4-2026/3
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	教務委員会副委員長		2025/4-2026/3
2	全学的委員会及びセンター業務等	学部教務委員会科目担当者会会長職務代理		2025/4-2026/3
3	全学的委員会及びセンター業務等	大学院入試委員会委員 * 大学院広報のためのホームページを改良案を提案。		2025/4-2026/3
4	該当なし	学生が学園祭で展開しているキャラクターを大学の公式キャラクターにする企画、学園祭キャラクターの知名度をあげるために学生に協力。		2023/4-2026/3
5	該当なし	健康開発学科の3専攻の県内推薦入試枠に関する検討のための情報の収集及び整理を行い、3専攻長に提出および提案。		2023/4-2026/3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			